

震災復興研究センター

2013年11月24日

古谷 豊

震災復興研究センターのご紹介



震災復興研究センター長 経済学研究科教授

増田 聡 MASUDA Satoru

震災復興研究センターは、2011年4月に地域イノベーション研究センター内に設立され、学内組織である災害科学国際研究所や学外の諸団体・学協会等と連携しながら、東北地方における地域経済・産業の震災からの復興に関する調査研究に取り組んでいます。

このうち、震災直後から当センターが中心となって実施してきた地域産業復興調査研究プロジェクトにおいては、東北大学をはじめとした仙台に立地する各大学の研究者を中心に、域外の大学・研究機関等からの参画も得て、被災現場の実情を見据えながら幅広い学問的知見をもとにした調査分析によって、地域の産業・社会を再構築していくための新たなモデルの構想や政策提言を行う等、被災地からの情報発信に努めてまいります。



創造的復興へ —— 8つのプロジェクトと復興アクション100+

東北大学災害復興新生研究機構

東北大学は、東日本大震災の被災地域の中心にある総合大学として、復興に全力を傾けていく使命があります。

東北復興・日本新生の先導を目指して、東北、ひいては日本そのものを牽引するエンジン・原動力の役割を果たしたい。

その目的を実現するために東北大学は、震災直後の2011年4月に「東北大学災害復興新生研究機構」を設置しました。政府・各省庁、自治体・住民、国内外の関係機関・企業と連携し、8つのプロジェクトと復興アクション100+の推進・支援を進めています。

私たち東北大学が目指すのは、「創造的復興」です。被災地域住民の生活再建に貢献しながら、新しい東北と日本の未来の創成につながるような先端研究と人材育成に取り組みます。総合大学としての多様な知を結集し、東日本大震災からの復興に寄与するさまざまな活動を展開しています。

基本理念

理念1 復興・地域再生への貢献

理念2 災害復興に関する総合研究開発拠点形成

理念3 分野横断的な研究組織で
課題解決型プロジェクトを形成



■ 2012年7月、外務省主催「世界防災関係会議in東北」に参加しました。世界に向けて、災害科学研究の成果を発信しています。



■ 2012年9月、「第8回APRU（環太平洋大学協会）自然災害リサーチシンポジウム」をホスト校として開催。2013年4月からは、災害科学国際研究所がAPRUの自然災害研究の中核を担っています。

東北地域の産業・社会の復興を継続的に支援するために

何のために

震災からの復興のためには、インフラなどのハード支援による直近の課題解決だけでなく、継続的な地域産業・社会の調査研究による課題の抽出・解決策の立案と、新たな雇用機会を創出するためのさまざまなイノベーション(新しい価値創出の実践)を誘発する革新的なプロデューサーの育成が不可欠です。

ミッション

本プロジェクトでは、地域イノベーション研究センターが

(1) 地域産業復興調査研究プロジェクト

(2) 地域イノベーションプロデューサー塾

を実施し、中長期的な視点から東北地域の産業と社会の復興を支援するための調査研究と人材育成に取り組みます。

どのように

(1) **地域産業復興調査研究プロジェクト**では、継続的に復興の進捗状況を調査分析すると同時に、新たな東北地域の産業と社会のあり方を探索することによって、被災地からの政策提言や情報発信を行っています。

(2) **地域イノベーションプロデューサー塾**では、地域企業の幹部や次世代経営者などを対象として、東北地域の産業振興に貢献できる革新的なプロデューサーを育成することによって、イノベーションによる新たな雇用機会の拡大を支援しています。

■ 震災復興に向けた新たな成長スパイラルのモデル



東日本大震災復興研究〈第1巻〉

東日本大震災からの地域経済復興への提言 被災地の大学として何を学び、伝え、創るのか

河北新報出版センター（2012年3月）



■【主な内容】

- ▶ 地域経済復興のシナリオ
マクロ経済把握分科会
地域社会分科会
- ▶ 産業再生・創造のかたち
産業分科会：
食産業チーム
観光チーム
ものづくりチーム
情報・通信チーム
流通チーム
- ▶ 雇用創造・企業再生のすがた
人材ビジネスインフラ分科会
金融ビジネスインフラ分科会

東日本大震災復興研究〈第2巻〉

東北地域の産業・社会の復興と再生への提言

復興過程の現実に向き合い、地域の可能性を探る

河北新報出版センター（2013年3月）



■【主な内容】

▶ 第一部

震災復興企業実態調査

▶ 第二部

復興の進捗に見る現状と課題

地域産業

漁業、農業、水産加工業、商業、観光、地域金融

地域社会

雇用、NPO活動、復興事業の課題

▶ 第三部

新しい地域づくりの可能性

再生可能エネルギー

スマート&コンパクトコミュニティ

事業革新支援のあり方プロジェクト

A. 産業の復興過程の記述

事業者の視点

C. 新たなビジネスモデルの提案

I 福島と津波被災地の復興の進捗と課題

II 新たな地域産業社会のモデル

企業アンケート
プロジェクト

水産加工業プロジェクト

農業プロジェクト

流通業プロジェクト

観光業プロジェクト

製造業プロジェクト

土木建設業
プロジェクト

NPOプロジェクト

地域金融プロジェクト

地域雇用プロジェクト

地域発イノベーション事例調査
プロジェクト

先進農業と6次産業化
食品マーケティング
プロジェクト

再生可能エネルギー産業
プロジェクト

新たなモデル
の提案

スマートシティプロジェクト

環境未来都市構想
(東松島市)プロジェクト

復興過程と
課題の記述

B. ライフラインの復興過程の記述

地域住民の視点

D. 新たな地域モデルの提案

復興支援(財政支出)の検証プロジェクト